

市では、健やかなお子さんの成長を見守っていくため、「離乳食教室」から6か月毎に乳幼児健康相談事業（お誕生日健康相談、1歳6か月児健康診査、2歳・2歳6か月児健康相談、3歳児健康診査）を行っており、対象のお子さんには案内通知を送付しております。

育児中は、お子さんのことやお母さん自身のこと、健康や食事のことなど、さまざまな不安や心配を感じることも多いです。

平成25年4月から 定期健康・育児相談日 母子手帳交付定例日 が変更になります



問合せ先 健康増進課健康づくり係 ☎ 2217

また、「どれくらい大きくなったかな」と、お子さんのからだの成長発育は気になるものです。市では、保育士・保健師や栄養士が、子育て等に関する相談に応じます。「こんなことは誰に聞けばいいのだろう」「なんとなく心配」育児や家事に追われる日々のなか、ちよつとした不安や気がかりなことはありませんか。

子育て支援センターの保育士・市の保健師が、お子さんの健康や発育・発達など、育児に関する相談に応じます。なかなか自宅では測ることが難しいお子さんの身体計測も行っておりますので、成長の確認に、お気軽にご利用ください。

**第2月曜は子育て支援センター
第4月曜日は市役所**

これまででは第2・第4月曜日に市役所で定期健康・育児相談、母子手帳交付を行ってまいりました。

平成25年度から、第2月曜は子育て支援センターにて、身長・体重測定を行います。奇数月には市保健師がセンターに同席し、育児相談などにも

第1四半期日程表

市役所	子育て支援センター
4月 22日(月)	8日(月)
5月 27日(月)	13日(月)
6月 24日(月)	10日(月)

※祝日等の場合は変更があります

対応します。母子手帳の交付は行いませんのでご注意ください。

第4月曜日については変更なく、市役所で定期健康・育児相談、母子手帳交付を行います。

定例日以外でも、母子手帳交付のほか、健康相談・育児相談・栄養相談についても随時対応しております。

定例日以外をご希望の場合は、事前にお電話にてご連絡ください。

日程・時間

◎子育て支援センター
第2月曜日
午前10時～11時

◎市役所(別館和室)
第4月曜日
午前9時～午後4時

固定資産税の縦覧と閲覧

土地や家屋の「価格等縦覧帳簿」の縦覧と「固定資産課税台帳」の閲覧を行います。

土地及び家屋価格などの縦覧

平成25年度の固定資産税評価額について、周辺の土地や家屋の評価額と比較することができます。

縦覧することができる方

固定資産税を納めている方(納税者)とその家族、納税者の委任を受けた方および納税管理者

縦覧期間 4月1日(月)～4月30日(火) 午前8時30分～午後5時15分 ※土日・祝日除く

手数料 無料

持ち物 本人確認ができるもの(納税通知書、運転免許証など)、認印、委任状(代理の方の場合) など

固定資産課税台帳の閲覧

平成25年度の固定資産税の基礎となる課税台帳をご確認ください。

閲覧することができる方

納税義務者とその家族、納税義務者の委任を受けた方、納税管理者および土地や家屋を借りている方

縦覧期間 4月1日(月)以降 毎日、午前8時30分～午後5時15分 ※土日・祝日除く

手数料 縦覧期間中は無料 ※ただし縦覧期間後は有料

持ち物 本人確認ができるもの(納税通知書、運転免許証など)、認印、委任状(代理の方の場合)、土地や家屋を借りている方はその契約書

審査の申出

平成25年度の固定資産課税台帳に登録された価格について不服がある場合は、固定資産の価格等を登録した旨を公示した日から納税通知書を受けた日後60日までの間に文書をもって下田市固定資産評価審査委員会に審査の申出をすることが出来ます。

平成25年度固定資産税第1期の納期限は4月30日です

納付には便利な口座振替をご利用ください。

問合せ先 税務課資産税係 ☎ 2218

伊豆縦貫道と下田のまちづくり

トークテラス

たくさん聞きました
伊豆縦貫道の**期待と不安**

問合せ先 建設課伊豆縦貫係 ☎ 2219

トークテラスって?

市ではまちづくりや縦貫道に関する「期待」や「心配」の声を広く皆さまにお伺いし、今後の取り組みに反映していくため、「トークテラス」と題した取り組みを実施しました。1月30日から2月2日の間、市内スーパー等に出展し、お買い物途中でも気軽に立ち寄っていただけるよう配慮いたしました。590人ほどの来場者があり、たくさんのご意見をいただきましたので、ご紹介します。

早期完成

●ぜひ早期に開通してほしい。
●本当に実現できるのか心配。

SPEED

ルート

●なぜこのルートが最善なのか、説明が足りない。
●インターが近くにある方が便利。
●各ルートのメリット・デメリットは?



教育環境

●教育環境を壊すので、このルートに反対。
●工事中は、地域の安全確保を。
●通学の安全のため、周辺道路の整備が必要。

高架道路

●高架からの車・物の落下が本当に心配。
●高架下の活用を考えることも大事。
●「高架だから危険」ではなく、その対策や工夫をすべき。

まちづくり

●縦貫道整備による、若い人の雇用・定着に期待。
●縦貫道だけでなく、まちづくりを考える場も必要。
●人を呼び込むには、道路だけでなく魅力あるまちづくりを。
●伊豆半島という広い視点で考えたとき、縦貫道は不可欠。

命の道

●救急車等の時間短縮など、安全性に期待。
●地震等の災害時に緊急輸送路として必要。

天城峠区間の整備

●河津下田区間よりも、天城峠が難所。そちらを先に整備して。



※詳細につきましては「伊豆縦貫道だより」2月号をご覧ください

今後も、下田市の「まちづくり」の計画をみなさんと一緒に考えていきます。